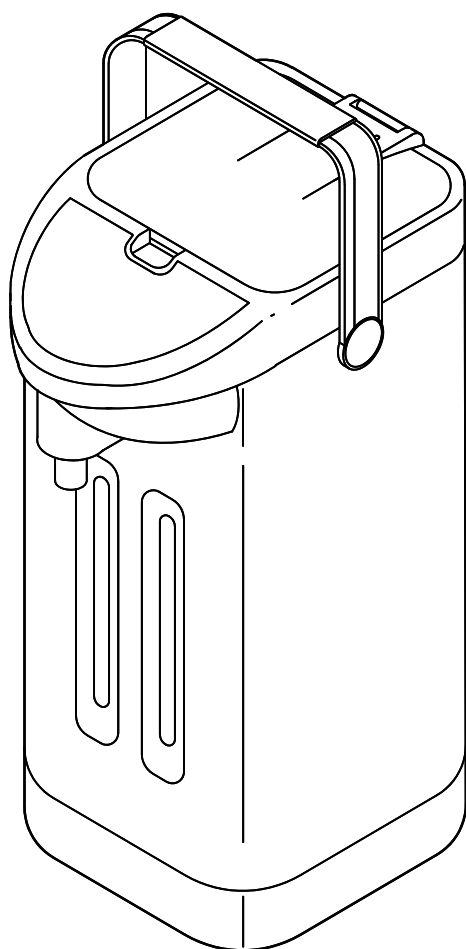


# 強電解水生成器

## ALTRON-NEO

アルトロン・ネオ

AL-740



### 取扱説明書

この度は当社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で大切なことが記載されておりますので、ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。

#### 目次

安全上のご注意	1、2
各部の名称	3
付属品	4
強電解水の作り方	
電解原液の作り方	5
強電解水の生成	6
強電解水の取り出し方法	7
強電解水の確認	8
お手入れのしかた	9
故障かなと思ったら	10
仕様・アフターサービスについて	

飲料用ではありません。

- 正しい使用をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は医療機器ではありません。
- 生成された強電解水を洗剤、薬品等と混ぜて使用しないでください。

# ■安全上のご注意

(このページは必ずお読みください)

## 表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その表示や意味を理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## △警告

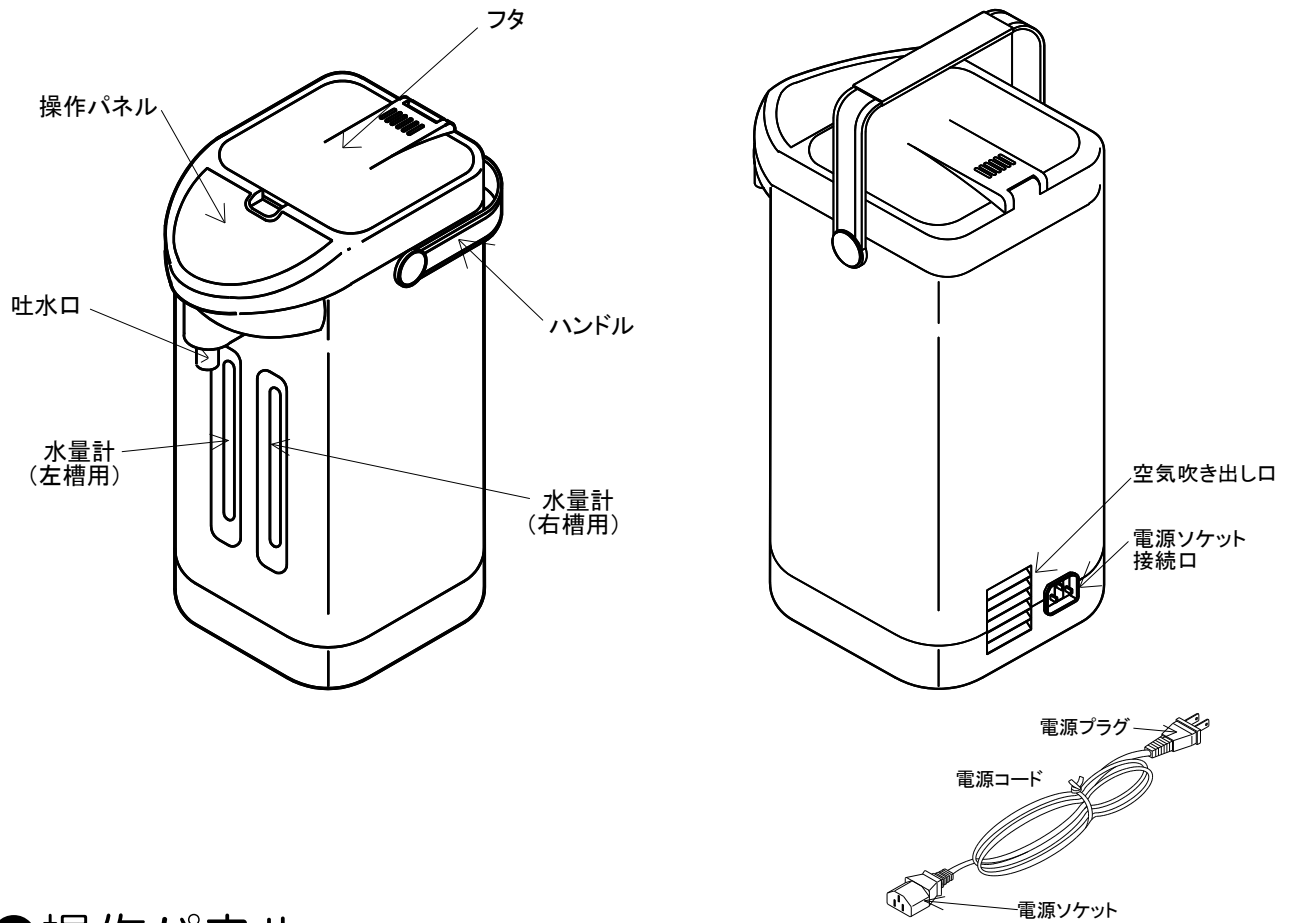
- \* 表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- \* 本器は国内でご使用してください。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となることがあります。
- \* 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。
- \* 電源コードが折れ曲がったり傷ついたりしないようにしてください。電源コードが破損し火災、感電の原因となります。
- \* タコ足配線はおやめください。発熱し火災の原因となります。
- \* 電源コードが傷んだまま使用したり、ガタついているコンセントでは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- \* 本体を誤って水中に落としたときは、  
1) 電源プラグをコンセントから抜き、2) 本体を引き上げ、  
3) 販売店に修理を依頼してください。
- \* 水道蛇口から直接水を入れしないでください。製品内部の電気回路部分に水が掛かり火災、感電の原因となることがあります。
- \* 本器の改造、分解は絶対にしないでください。火災、感電の原因となります。その結果生じた事故については一切責任を負いません。
- \* 浴室やシャワールームでの使用は絶対にしないでください。
- \* 生成された水は外用水ですので、飲用として使用しないでください。万が一飲んでしまった場合には水を飲ませ、医師に相談してください。
- \* 風通しの良い所で使用してください。
- \* 電源コードの電源プラグ、電源ソケットにピンなど金属片やごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因となります。

## ▲注意

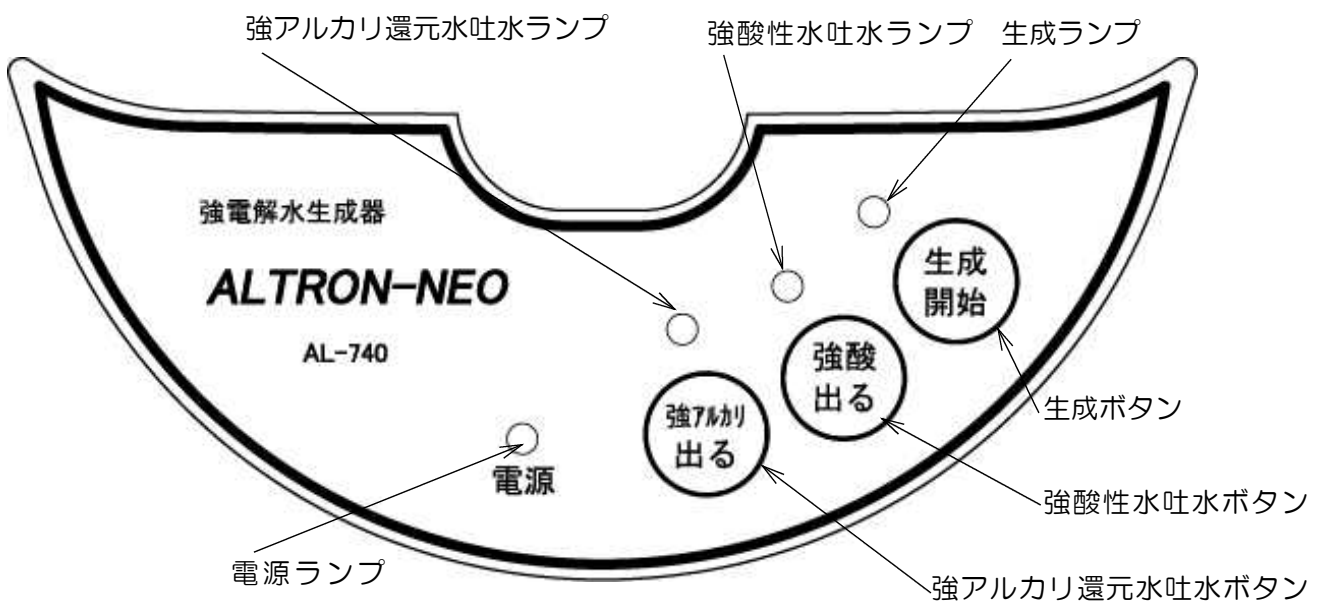
- \* 本器に使用する水は水道水を基準としています。不適な水を使用すると故障の原因となることがあります。次のような水は使用しないでください。  
飲用不適な井戸水、濁りのひどい水、硬度の高い水、塩分の多い水、赤さびの多い水、汲み置きの水、その他水道基準に不適合な水。
- \* 生成された水が目に入った場合はこすらずに水でよく洗い応急処置をし医師に相談してください。
- \* 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。  
火気を使用しているところ、直射日光が当たるところ、凍結の恐れがあるところ、湿気やほこりの多いところ、水のかかるところ、腐食性ガスの発生するところ。
- \* 本体底部の空気取り入れ口を塞がないためにカーペットや絨毯などの敷物の上へ設置しないでください。
- \* 背面にある空気吹き出し口を塞がないでください。
- \* 本体が水平な位置になるように設置してください。グラついた台の上や傾いたところには設置しないでください。落ちたり、倒れたりする原因になることがあります。
- \* 電解中は電源プラグや電源ソケットを抜かないでください。万が一停電等で電解中に電源が切れた場合は本体内部の水を捨て、新たに電解原液を作り、最初から生成をやり直してください。
- \* 30℃以上の温水は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 水の出口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 水の出口をホースなどで延長しないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 本器の上に物を置かないでください。故障または事故の原因となることがあります。
- \* 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 本器に水をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持っておこなってください。コードを引っ張るとコードが傷み火災、感電の原因となることがあります。
- \* 故障した場合には、必ず販売店に修理を依頼してください。ご自身での修理は絶対に行わないでください。
- \* お子さまの手の届かないところでご使用ください。
- \* 寒冷地でご使用の場合は、本体内が凍結しないようにご注意頂き、室温でご使用ください。
- \* 急に寒い場所から暖かい場所に移動しないでください。本体内で結露が発生し、故障の原因となります。
- \* アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などは使用しないでください、また酸やアルカリに弱いプラスチック製容器も使用しないでください。
- \* 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- \* 本体底部はぬらさないでください。ぬらしたまま本体を逆さまにすると、本体内に水が入り故障の原因となります。

# ■各部の名称

## ●本体



## ●操作パネル



## ■付属品

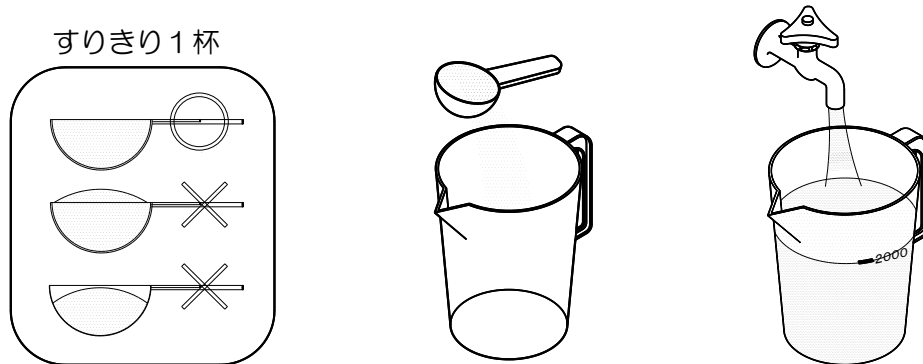
<p>計量カップ2ℓ用 (1個)</p>	<p>精製塩 (1袋)</p>	<p>攪拌器 (1本)</p>	<p>精製塩用計量スプーン (1本)</p>
	 <p>純度99%以上</p>		 <p>2 g 計量用</p>
<p>強酸性水用スプレー (1個)</p>	<p>強酸性水保存容器 (1個)</p>	<p>強アルカリ還元水保存容器 (1個)</p>	<p>試験紙セット (1セット)</p>
			 <p>ヨウ化カリウム澱粉紙 (20枚) 比色紙 (色見本 1枚)</p>
<p>強酸性水保存ラベル (赤 5枚)</p>	<p>強アルカリ還元水保存ラベル (緑 5枚)</p>	<p>電源コード (1本)</p>	
			

# ■強電解水の作り方

## ●電解原液の作り方

1. 計量カップに精製塩を入れ水を加えて電解原液をつくります。

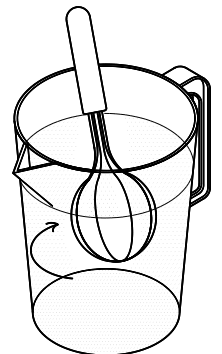
- (1) 精製塩を精製塩用計量スプーンすりきり1杯いれてください。
- (2) 水（水道水）を計量カップのメモリ2000まで入れてください。



### ⚠ 注意

※塩は精製塩（純度99%以上）を使用してください、天然塩や粗塩、調味塩は使用しないでください。故障の原因となることがあります。

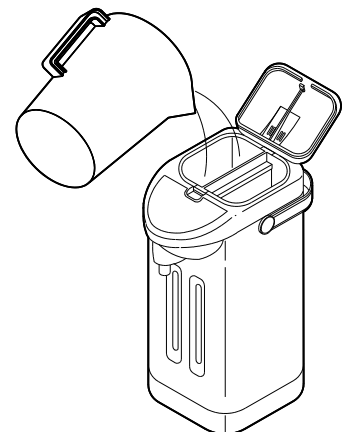
2. 精製塩が溶けきるまで攪拌器でよくかき混ぜます。



3. 電解原液を本体（槽内）に入れます。

4. 1～3を繰り返して電解原液を合計4ℓ作り  
本体（槽内）の左右の水位が同じようになるように、電解原液を入れます。

※電解原液は必ず規定量（4ℓ）入れてください。

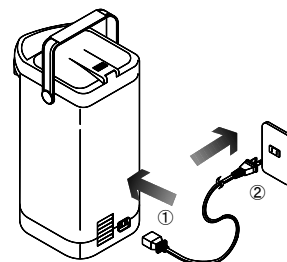


5. フタを閉めます。

## ●強電解水の生成

1. 電源コードの電源ソケットを本体背面の電源ソケット接続口に差します。次に電源プラグをコンセントに差します。

操作パネルの電源ランプが点灯します。



2. 生成ランプが消えていることを確かめます。

生成ランプが点灯している場合は生成ボタンを1回押してランプを消してください。



3. 生成ボタンを押します。

生成ランプが点滅し電解がはじまります。

※電解中は電源を切らないでください。

※電解中に停電等で電源が切れた時は電源復帰後全てのランプを点滅してお知らせします。

(いずれかのボタンを押すことにより点滅は解除されます。)

※電解中に停電等で電源が切れた時は、ランプの点滅を解除した後、強アルカリ還元水吐水ボタンを押し続け本体内の片側の槽の水を排水し、次に強酸性水吐水ボタンを押し続け反対側の槽の水を排水し、電解原液を作るところからやり直してください。

※電解中はフタを開けないでください。

※電解中は換気を充分行ってください。

4. 生成ランプが点滅から点灯に変わると生成が完了です。

生成時間：約10分



### ▲注意

※電解終了後、内部の強電解水を完全に吐水させるまで持ち歩きはしないでください。

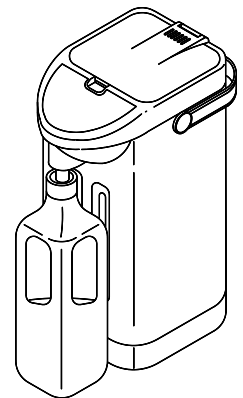
強電解水がこぼれ出る場合があります。

※本体を回転させるときは、ゆっくり回してください。

速く回転させると強電解水がこぼれ出る場合があります。

## ●強電解水の取り出し方法

1. 電解が完了したら強電解水保存容器を吐水口に合わせて置き、強酸性水を採水する場合は「強酸性水吐水」ボタン、強アルカリ還元水を採水する場合は「強アルカリ還元水吐水」ボタンを押して、各々別の容器に採水してください。



吐水ランプがしばらく点滅しそれから点灯に変わります。

吐水が止まると酸性水吐水ランプまたはアルカリ還元水吐水ランプは消灯します。

吐水ボタンは短く1回押すと約2秒連続で吐水します、途中で止める時は再度、吐水ボタンを押してください。吐水ボタンを長く押すと押している間だけ吐水し、放すと止まります。

※「強酸性水吐水」ボタンを押した時右の水量計が少なくなる時と左の水量計が少なくなる時があります。これは電気分解が1回ごと極性を反転させて行なわれるため、強酸性水が右槽に生成されたり左槽に生成されたり1回ごと替わるためです。「強酸性水吐水」はそれに合わせ右槽あるいは左槽から吐水を行います。同様に「強アルカリ還元水吐水」も右槽あるいは左槽のどちらから吐水を行います。故障ではありません。

※強電解水生成中は全てのボタンを受け付けません、やむをえず生成を中断する場合はコンセントから電源コードの電源プラグを抜いてください。再度電解を行う場合は本体内の水を排水し最初からやり直してください。

2. 本体から強電解水を全て取り出してから1回生成ボタンを押して生成ランプを消してください。

※「強酸性水吐水」ボタンと「強アルカリ還元水吐水」ボタンを押した後でないと、「生成」ボタンを押しても生成ランプは消えません。

※生成ランプが消灯していないと次回生成時に生成ボタンを押しても電解が開始されません。



---

## ⚠ 注意

※強電解水は生成後なるべく早く本体から全部吐水してください。

※電解終了後、本体内部の冷却用ファンが約10分程動いて自動的に止まります。冷却用ファンが止まるまで電源プラグや電源ソケットを抜かないでください、ファンが止まる前にプラグを抜くと故障の原因となることがあります。

※電解中はフタを開けないでください。

※電解中は臭いが発生します、換気を充分行ってください。

※付属の保存容器以外を使用する場合には、強アルカリ還元水には強アルカリ還元水用の、強酸性水には強酸性水用の専用保存ラベルを必ず貼ってください。

※飲み物の空容器には絶対に保存しないでください。強電解水を誤って飲んでしまう恐れがあります。

※お子さまの手の届かない場所に保管してください。

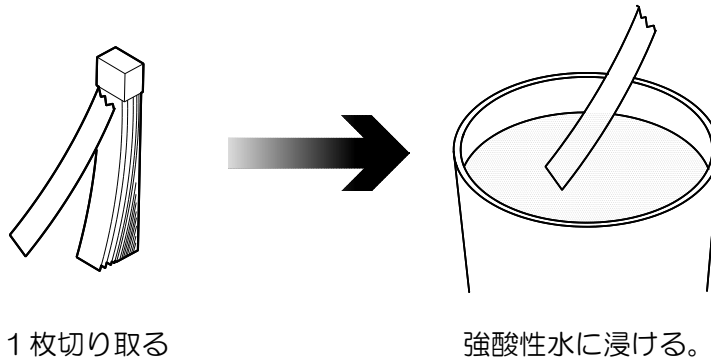
---

## ■強電解水の確認

---

### ●試験紙（ヨウ化カリウム澱粉紙）の使い方

各ご家庭の水質やその他、様々な条件の違いにより、適正な強電解水が得られない場合があります。ガラスのコップ等に強酸性水を入れ、付属の試験紙でご確認ください。



- ①比色紙の比色表と比べたとき色が薄い場合。  
電解が弱すぎます。精製塩の量を増やし最初からやり直してください。
- ②比色紙の比色表と比べたとき色が適正の場合。  
適正な電解です。
- ③比色紙の比色表と比べたとき色が濃い場合。  
電解が強すぎます。精製塩の量を減らし最初からやり直してください。

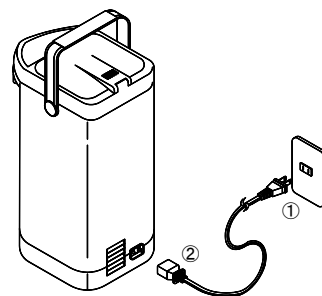
※この判定方法は簡易的なものです、目安として使用してください。

## ■お手入れのしかた

### ●日常のお手入れ

#### ●本体内（槽内）のお手入れ

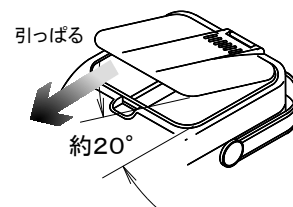
1. 電源コードをコンセントと本体から抜いてください。
2. 本体内（槽内）に水道水を入れてすすぎ洗いをしてください。  
（水道蛇口から直接水を入れなくて、計量カップ2杯用で水を注いでください。）
3. 本体の電源ソケット接続口、電源コードの電源ソケット・電源プラグがぬれていないことを確認してから電源コードを本体とコンセントに接続してください。
4. 空のバケツ等を本体吐水口に合わせて置き、強アルカリ還元水吐水ボタンを押し続け本体内の片側の槽の水を排水し、次に強酸性水吐水ボタンを押し続け反対側の槽の水を排水してください。



#### ●本体外側のお手入れ

本体の外側の汚れや水分は良く絞った布で拭き取るようにしてください。

フタは取り外すことができます、必要に応じてはずして水洗いをしてください。



（フタを20°ほど開けて手前に引っぱってはずしてください。）

## ■故障かなと思ったら

症 状	原因	対処
電源ランプが点灯しない。	電源プラグか電源ソケットが抜けている。	電源プラグまたは電源ソケットを接続してください。
	本体内ヒューズ切れ。	お買い上げの販売店に連絡してください。
強アルカリ還元水吐水ボタン、または強酸性水吐水ボタンを押しても吐水されない。	強電解水の生成が完了していない。(このとき生成ランプが点滅しています。)	強電解が完了してから再度ボタンを押してください。
	電源プラグか電源ソケットが抜けている。	電源プラグまたは電源ソケットを接続してください。
強酸性水を強電解用試験紙で測定すると色が薄い。	電解原液を作った時の精製塩の量が少なかった。	電解原液の精製塩の量を少し増やし最初から作り直してください。
	電極板の寿命。	お買い上げの販売店にご相談ください。
強酸性水を強電解用試験紙で測定すると色が濃い。	電解原液を作った時の精製塩の量が多すぎた。	電解原液の精製塩の量を減らして最初から作り直してください。
すべてのランプが点滅している。	電解中に停電等で電源が切れた。	いずれかのボタンを押して点滅を解除してから強アルカリ還元水吐水ボタンを押し続け本体内の片側の槽の水を排水し、次に強酸性水吐水ボタンを押し続け反対側の槽の水を排水して最初から作り直してください。 (各吐水ボタンを離すと吐水は止まります。)

## ●仕様

品名	強電解水生成器
名称	アルトロン・ネオ
型番	AL-740
外形寸法	高さ406mm×幅205mm×奥行き267mm（突起部含まず）
本体重量	約3.5Kg
定格電圧、周波数	AC100V 50/60Hz
定格電流	0.6A
使用周囲温度	0～40℃（凍結不可）
使用相対湿度	0～85%RH
給水水質	上水道水を原則とする
給水水温	0℃～30℃
電解方法	バッチ式隔膜電解方式
電解時間	約10分
電極洗浄	使用毎の極性反転
処理水量	4ℓ
消耗品	試験紙セット（ヨウ化カリウム澱粉紙）、強酸性水保存ラベル、強アルカリ還元水保存ラベル、強電解用精製塩

\*仕様、外観等は製品改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## ●アフターサービスについて

保証書：この製品には保証書が添付されています。  
「お買い上げ店の捺印、購入年月日」などの記入及び記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。  
所定事項が記入されていない場合や紛失された場合は保証期間内でも保証が無効となる場合があります。

保証期間：この製品お買い上げの日から1年間です。  
正常な使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合は、保証書に記載されている内容に基づき、修理いたします。

保証期間経過後の修理：  
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。  
※補修用性能部品とは、この製品の機能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。



株式会社 **アルテック**

〒396-0026  
長野県伊那市西町5142-3  
Tel.0265-72-6615